

平素より皆様方には、大変ご理解を頂き、また、深く前橋積善会にご協力を賜り心より御礼申し上げます。

また、今般、この一連のきらめきの郷まちづくり事業の担当常務であった前橋あそか会常務の関谷貴さんが退職なされます。

前橋東看護学校事務局長の時から七年間の両会に對してのご尽力に、心から感謝すると共に

法身堅固にて益々のご活躍を祈念いたします。関谷常務が残した実績に心から敬意をはらいたいと思っております。本当にありがとうございます。

世情は相変わらず新型コロナウイルス対策に翻弄されていて、前橋積善会も感染者対応に全力で臨んでいます。ウイルスを排除するのは困難を極めています。

そんな中、職員は誠心誠意、利用者や患者様の治療、看護、支援に一生懸命取り組んでいますし、患者

様や利用者の方々も大事にならず過ごして頂いております。

今後、緊張感を持ちつつ治療、看護、支援に努めていきたいと決心しています。

人類と感染症との闘いは、ホモサピエンスの頃からだとされていますが、直立二足歩行や大きな脳と言葉の習得や道具の使用をして紀元前三〇〇〇年頃文



日日是好日

前橋積善会理事長 栗木信昌

一九二三年の十年間に起こった事です。

現在、百年後の今日も同じ事が起こっています。

字が生まれ大きく進化したわけですが、それと同様に部族争いも起き感染症との闘いの中に土地や食糧を奪い合う人間同士が争う紛争、それが現代では国同士の戦争と言う悲惨な争いになってしまっています。

感染症と戦争とそれに加えて天災という大きな課題に人類は終始対応していかなければ成らないと言う事なのでしょうか。

おおよそ百年前、世界は

スペイン風邪と第一次世界大戦、そして日本は、関東大震災と言う同時に三つの脅威と闘っていました。

スペイン風邪では四千万の方が亡くなり、第一次世界大戦では千万の方が亡くなり、関東大震災で十萬五千人の方が亡くなり、二十九萬三千軒以上の家屋が全焼流失し、多くの方々が被害に遭っています。この三例の悲劇は

一九一四年から一九二三年の十年間に起こった事です。前後はしますが、二〇二一年には東日本大震災が起こり、二〇一九年暮れに新型コロナウイルスとの戦いが始まり、既に、多くの方が亡くなっています。

漸くワクチンが開発され治療薬も創られたと言う時に、ロシアがウクライナに侵略し第三次世界大戦が起る危険性を大きく孕んでいます。百年経っても人類は全く同じ恐怖との闘いを

繰り返しています。三大恐怖に対しても人類はそれに立ち向かい解決する術をあまり持っていないし、スペイン風邪の時の対応策は、三密回避とマスクと手洗いでしたし、戦争に対しては、化学兵器や核兵器まで前提とする状態ですからむしろ後退しています。

二千六百年前釈尊が述べていた「人類はこのままではこの地球上で生き続けることができない。人は余りにも自分の本分からはみ出し過ぎる、全ての動植物には本分があるのだ」と。弟子達に本文を弁えさせるために多くの戒律を授け、正に行動制限をさせた訳です。正に、現代を予言していたと言えるのでは無いかと考えます。

一日でも早く新型コロナウイルス感染症が収束しロシアとウクライナの戦争が終結して貰いたいと思いますが、中々先が見えず、不安や恐怖から解放されません。

私たちは、第二次世界大戦後、七十七年間三百十万人の軍民の犠牲の上に平和と言う身心の最も安定する

大きく素晴らしい価値を頂きました。

コロナ前の社会には、平和を謳歌している日本人が不安もなく生活していました。

今後は、現在までの価値観と人生観や社会像から全く違った新しい時代になつて行くものと考えます。

しかし、こう言う時には悲観の中にいるのではなく、新たな社会や世界に対応できる、新しい視野が必要で、それを発見する事が大切なのだと思います。

新たな仕組みや価値観に対応する技や技術やスキルや直感力等々、実は今大きな変化の機会が目の前に来ているのかもしれない。

幸い江木地区にはJリーグのザスパ草津の大きな練習場が出来ますし、上武道路ももう少しで片側に二車線になりますし、その沿線には道の駅ができ、住宅展示場が出来るなど既存の商業施設も含めるとドンドン活性化して行きそうです。

時代を冷静に受け止め、正しい判断の上に慈悲善隣